

クラウドゲートウェイサービスの今後の 展開案

2018年6月21日
学術情報基盤オープンフォーラム2018

国立情報学研究所
クラウド基盤研究開発センター／クラウド支援室
西村 健

ここから先はこんな機能あつ
たらいいなという話です

サービス名変更したい



- 例：Microsoft Imagine ← DreamSpark
- 紹介文等も変更したい
 - 現在のものは不十分
- 機関毎に別である必要はあるか？
 - 実現するとすればSPコネクタオーバーレイのような形か？
- 共有知として、誰かが更新すれば他機関でそれが享受できることが理想的

カテゴリ分け



- 電子ジャーナル
 - ファイル転送サービス
 - TV会議
 - ソフトウェア
 - ネットワーク系
-
- ユーザーが最近使ったSP
 - タグ機能はある。どう見せるか？

- メンテナンスにより休止中
 - 現状でも「休止中」ステータスはある
 - 休止中にする際にコメントを入れさせて、本来そのSPが表示されるべき場面でページ先頭に当該コメントを表示する

- 「後継サービスへの移行により廃止されました」

- SPのメンテナンス/障害周知として

学生・教職員の別による表示のコントロール



GakuNin Cloud

- 学生にはこれ、教職員にはこれ、と見せたいものが異なるパターン
- 小手先の対応
 - タグ「学生」「教職員」付けて、それぞれでフィルタしたページへ飛ばす

部局毎の表示のコントロール GakuNin Cloud

- 部局ごとにIdP管理者を設定して部局に所属するメンバーの表示をコントロールできる仕組みがほしい
- 主に大規模大学向け

- クラウドゲートウェイで「利用可能」としている機能数

- 学認のSSO = ID/パスワードを再度入力する必要がないこと
 - ログイン手順が省略されることは必ずしも含まれない
- クラウドゲートウェイからのリンクであれば、「ログイン後」の画面に遷移することが可能

- 電子ジャーナルについては調査が必要
 - 独自DS 機関の表現の違い

- 現状、利用可能サービスを指定するのに、学認申請システム経由とクラウドゲートウェイ上で直接指定する方法があり、前者が優先される
 - 毎朝のcronで上書きされる
 - 1 entityIDに複数のサービスが紐付くような場合に細かい指定ができないため後者を優先すべき

- 参加サービスをクラウドゲートウェイに登録
 - 表示に必要な情報を入力してもらう
- IdP管理者から選択してもらう
- 契約

サービス表示に何が必要？



■ 現状

- サービス名
- URL (リンクとして)
- 紹介文
- 公開タグ/プライベートタグ

■ 利用マニュアル？

- 学認でログインする手順とか

クラウドゲートウェイがIdP管理者 を認識する方法の効率化



GakuNin Cloud

- IdPからの属性eduPersonEntitlementに
"urn:mace:gakunin.jp:entitlement:cg.gakunin.jp:o-admin"
を入れて送信させる

- 利用者がグループに参加する際に利用サービスが確かに利用できることを確認できる仕組みがあったほうがいい
 - 所属機関IdPがmeatwikiにePPNを送信しない場合があるため
- グループ管理者が招待する際に、所属機関IdPでログインさせるかOpenIdPを使ってもらうかの選択
- 実はmeatwikiに限らない普遍的な問題

- グループ管理インターフェースをOAuth 2で提供
- もし利用したい方がいれば
- mAP対応SPが利用するというスタンス